

議案への反対討論 岡田ゆき子議員（2023年7月4日）

「木造復元」でなく耐震改修を検証を経て、信頼回復を 完成予定期日を延長しても着工する目途なし

名古屋城天守閣木造復元事業における、木材は、全国4カ所に分散して保管され、その保管料に毎年1億円が支出されています。保管の請負契約を、完成予定期日を暫定的に1年延長することが提案されました。昨年に続き2回目の延長です。岡田ゆき子議員が、7月4日の本会議で反対討論を行いました。その内容を紹介します。

6月3日、名古屋市主催で名古屋城天守閣木造復元計画バリアフリーのあり方をテーマに市民討論会が開催されました。天守閣上層階までエレベーターの設置を求めた車いす利用の参加者に対して、差別表現を含む発言が続出しました。

河村市長がこだわる「本物復元」は、深刻な市民の分断を招き、障害者権利条約の肝である「他のものとの平等」を権利として保障する国際水準に、近づくどころか後退させる、重大な人権問題に発展しました。それは、行

政運営の在り方まで問われることになり、その検証だけでも1年程度はかかるといわれています。

さらに、その検証を経て名古屋市は、障害当事者や市民との信頼回復に取り組まなければなりません。信頼回復なくして、議論を前に進めるわけにはいきません。

外観を史実に忠実に再現した「現天守閣」は、エレベーターを利用して誰もが上階にのぼることができ、当時の木造天守に思いをはせ、また、戦後市民の復興のシンボルとして建設されたその重みを体感することができます。

天守閣木造復元事業はいったん白紙に戻す決断をし、差別の象徴の城にするのではなく、「現天守閣」の耐震改修に直ちに着手し、名古屋市が信頼回復の道に進む城として、活用することを求めます。



6月定例会が閉会

日本共産党は16議案のうち1議案に反対

意見書4件が議決

6月定例会が7月4日に閉会しました。日本共産党は当初提案された16議案のうち「名古屋城天守閣整備事業先行工事（木材の製材）の請負契約の議案に反対しました。

2022年6月議会の主な議案と態度（○＝賛成 ●＝反対）

議案名	共	自	民	減	公
契約の一部変更 4件 南陽工場焼却設備更新等の工事。勅使ヶ池墓園用地買入れ。志段味住宅等の整備事業用地。東山公園テニスセンターの指定管理者の変更	○	○	○	○	○
契約の一部変更 名古屋城天守閣整備事業先行工事（木材の製材）の請負契約	●	○	○	○	○
条例の一部改正 5件 市税事務所設置・市税条例改正。児童福祉施設条例。建築基準法施行条例。火災予防条例。守山区に尾張旭市営バスの停留所設置。	○	○	○	○	○
6月補正予算	○	○	○	○	○
人事案件 5件 人事委員会・固定資産評価審査委員会・農業委員会・土地利用審査会・人権擁護委員	○	○	○	○	○

共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党

意見書案に対する各会派の態度

2023年6月定例会

案件名	原案	各会派の態度					結果
		共	自	民	減	公	
商店街共同施設の整備等を対象とする補助制度の創設を求める意見書	自	○	○	○	○	○	◎
痴呆財政の充実・強化を求める意見書	民	○	○	○	○	○	◎
防衛費増額の財源確保に関する意見書	減	●	●	●	○	●	×
優生保護法問題の早期解決を求める意見書	公	○	○	○	○	○	◎
特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に関する意見書	公	○	○	○	○	○	◎

・結果の◎は可決された意見書。×は一致しなかった意見書。

○＝賛成 ●＝反対 △＝修正して賛成 ▲＝修正されず反対。

共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党